

維持管理情報

横瀬工場1号キルン

1 / 2

施設の操業状況に関する情報		2022年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼室中の燃焼ガス温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ト)	(1) 測定位置	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
	(2) 測定結果を得た年月日	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
	(3) 測定結果(°C)	840	830	830	820	830	820	820	830	840	820	830	830
集塵器に流入する燃焼ガス温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 リ)	(1) 測定位置	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
	(2) 測定結果を得た年月日	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
	(3) 測定結果(°C)	105	101	111	112	109	109	105	103	101	98	100	101
煙突から排出されるCO濃度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ヲ)	(1) 測定位置	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④
	(2) 測定結果を得た年月日	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
	(3) 測定結果(%)	0.02	0.07	0.11	0.09	0.08	0.04	0.06	0.03	0.04	0.03	0.02	0.02
焼成炉中の温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ッ)	(1) 測定位置	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
	(2) 測定結果を得た年月日	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
	(3) 測定結果(°C)	1220	1260	1260	1240	1240	1310	1280	1300	1250	1260	1250	1240
排ガス処理設備に堆積したばいじんを除去した年月日 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び第12条の7の2 ス)		連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し
ダイオキシン類濃度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ル) 廃掃法規定 0.1ng-TEQ/m ³ N以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥	
	(2) 排ガスの採取年月日	4月4日		6月17日		8月4日		10月6日		12月8日		2月9日	
	(3) 測定結果を得た年月日	5月11日		6月28日		9月6日		11月15日		1月13日		2月24日	
	(4) 測定結果(ng-TEQ/m ³ N)	0.0013		0.0034		0.0033		0.0012		0.0016		0.043	
ばい煙 (廃掃法施行規則 第4条の5の2及び 第12条の7の2 カ)	硫黄酸化物	(1) 排ガスの採取位置	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月4日		6月17日		8月4日		10月6日		12月8日		2月9日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月11日		6月28日		8月18日		10月28日		12月19日		2月24日
		(4) 測定結果(ppm)	0.5未満		0.6未満		0.6未満		0.6		0.3未満		0.4未満
	ばいじん 大防法規定 100mg/m ³ N以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月4日		6月17日		8月4日		10月6日		12月8日		2月9日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月11日		6月28日		8月18日		10月28日		12月19日		2月24日
		(4) 測定結果(mg/m ³ N)	3未満		2		2		4		3未満		3未満
	塩化水素 廃掃法規定 700mg/m ³ N以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月4日		6月17日		8月4日		10月6日		12月8日		2月9日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月11日		6月28日		8月18日		10月28日		12月19日		2月24日
		(4) 測定結果(mg/m ³ N)	1.7未満		1.7未満		1.9未満		1.7未満		1.5未満		3.2
窒素酸化物 大防法規定 480ppm以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥	
	(2) 排ガスの採取年月日	4月4日		6月17日		8月4日		10月6日		12月8日		2月9日	
	(3) 測定結果を得た年月日	5月11日		6月28日		8月18日		10月28日		12月19日		2月24日	
	(4) 測定結果(ppm)	84		17		84		72		110		85	

補足(セメントの製造工程の例と測定位置に関する説明)

2/2

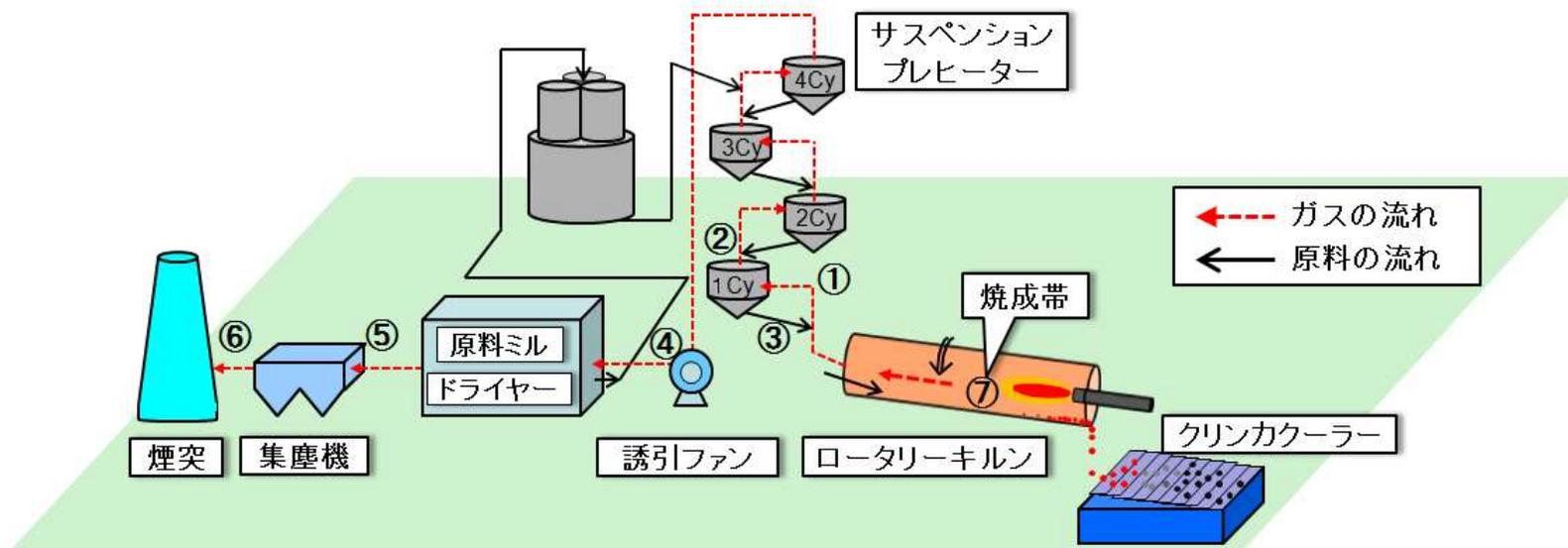


図 セメント製造工程の概略図

- 1) 焼成炉(ロータリーキルン)中の燃焼ガス温度は①、②または③の温度のうちの一つとしている。
- 2) 集塵機に流入するガス温度は⑤の温度を云う。
- 3) 一酸化炭素(CO)濃度は、④または⑤または⑥のCO濃度のうちの一つとしている^{※1}。なお、④または⑤のCO濃度は煙突出口のCO濃度とほぼ同程度と推定される。
- 4) 焼成炉中の温度は⑦の温度を云う^{※2}。
- 5) ばい煙やダイオキシン類を測定している場所は⑥である。

※1 セメント製造の用に供する焼成炉は、煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の発生抑制のための燃焼に係る維持管理の指標として一酸化炭素(CO)の濃度を用いることが適当でない特定の種類の焼却施設として環境大臣により定められている(環廃対441・環廃産460)。この代わりに、3カ月に1回以上の排ガス中のダイオキシン類濃度の測定・記録が義務付けられている(廃掃法施行規則第4条の5第1項第2号ル)。

※2 炉内にはクリンカ粒が多量に浮遊していることから、温度の実測が困難であり、実温度よりも100~200℃低い値となる場合がある。しかし、製品の性状に問題は無く、また、焼成炉中の温度1000℃以上を確実に立証している。